

時間割コード	G3D21219	開講年度	2026				
授業題目	アカデミック・イングリッシュ・フェイズ					担当教員	板倉 ひろこ
英文授業名	Academic English Phase						
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・3時限	対象学生	T (質4)
講義室	工C3-102教室			授業形態	演習	遠隔授業科目	
備考							
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	大学DP						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力					大学の学修の土台となるAcademic Skillsを使えるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	上述の目標を達成するために、主にAcademic Writing, Academic Reading及びAcademic Speakingの演習を行う。 ・Academic Writing: エッセイライティング用の教材を用いて演習を行い、5パラグラフからなる論理的且つ説得力のある英語論文をつくる。 ・Academic Reading: 専門的な英語文献を読解することで、専門課程の学術探究で必要とされる読解力を更に磨く。 ・Academic Speaking: 学際的なプレゼンテーションの実践を通じて、英語のコミュニケーション・プレゼンテーションスキルを更に磨く。						
(5)授業のキーワード	Essay Presentation Academic Writing Academic Reading Academic Speaking						
(6)授業計画	W1 ガイダンス・Warming up W2 Unit 5 (1) Skimming W3 Unit 5 (2) Unity in a paragraph W4 Unit 5 (3) Unit 5 review W5 Unit 6 (1) Identifying the author's purpose W6 Unit 6 (2) Describing a process W7 Unit 6 (3) Unit 6 review W8 Mid term test and review exercises W9 Unit 7(1) Identifying claims and support W10 Unit 7(2) Using sentence variety W11 Unit 7(3) Unit 7 review W12 Unit 8(1) Writing an explanatory paragraph W13 Unit 8(2) W14 Unit 8(3) review W15 Review exercises and class sharing 課題の内容、提出方法、締め切りについては毎回の授業内・およびeALPS上で通知します。 最後の授業で授業アンケートを実施します。						
(7)成績評価の方法	1. 授業期間中の習熟度を測る課題(50%) (授業内アクティビティー、ライティング、スピーチ、プロジェクトワークなどを含む) 2. 小テスト・中間テスト(ライティング、語彙、スピーチ)など25% 3. 期末テスト(ライティング、語彙)25% この授業の達成目標に到達するために必要な出席回数に満たない場合は、						

(7)成績評価の方法	成績評価の対象外とし、評点は0点となります。
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」 とみなす。
(9)事前事後学習の内容	この授業は 2 単位のため、60 時間以上の授業時間外学習を必要とします。 事前にeALPSにアップロードされるclass materialsは事前に目を通して予習を行うこと。 ミニクイズについては事前に十分準備をして臨むこと。 課題についてはガイドラインに沿って期日までに提出すること。
(10)履修上の注意	毎授業時にノートパソコンと指定教科書を持ってくること。 出席確認は、システム上出席確認(QRコード)およびクラス内での点呼の両方で行います。
(11)質問,相談への対応	月曜日 11:30 ~ 12:30 をオフィスアワーとする(教員室)。 その他、質問は、随時メールで受け付けます。 対面・ビデオ通話(Zoom・Meet・スカイプ等)でのコンサルテーションも可能です。メールでアポイントメントをとってください。
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外(評点は0点)となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」(『共通教育履修案内』参照)により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください(『共通教育履修案内』参照)。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」(『共通教育履修案内』参照)により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法(『共通教育履修案内』参照)により、共通教育窓口で申請してください。(この場合は、出席扱いにはなりません。)
【教科書】	Skills for Success 2. Reading and Writing 2. Fourth Edition (Oxford University Press)
【参考書】	随時授業時に説明します。